



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

子宮内膜発癌に対するイソフラボンの抑制作用の検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 丹羽, 憲司 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/567

は し が き

子宮内膜癌は日本においても近年増加している。これまで日本を含む東アジアなどで内膜癌の発生が少なかったのは大豆などのイソフラボンの作用であり、逆に増加しているのは高脂肪食の摂取と大豆摂取の減少が関連しているとも考えられる。しかし、これまでイソフラボンの子宮内膜癌に対する影響を検討した報告はない。今回、マウス子宮内膜発癌に対するイソフラボンの影響とその分子生物学的影響も検討した。

研 究 組 織

研究代表者：丹 羽 憲 司 (岐阜大学医学部産婦人科学教室)

研究分担者：玉 舎 輝 彦 (岐阜大学医学部産婦人科学教室)

交付決定額 (配分額)

(金額単位：千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成12年度	1200	0	1200
平成13年度	700	0	700
総計	1900	0	1900

研 究 発 表

(1) 学 会 誌 等

- 1) Niwa, K., Hashimoto, M., Morishita, S., Lian, Z., Tagami, K., Mori, H., Tamaya, T. Preventive effects of Juzen-taiho-to on N-methyl-N-nitrosurea and estradiol-17 β -induced endometrial carcinogenesis in mice. *Carcinogenesis*, 22, 587-591, (2001)
- 2) Lian, Z., Niwa, K., Tagami, K., Hashimoto, M., Gao, J., Yokoyama, Y., Mori, H., Tamaya, T. Preventive effects of isoflavones, genistein and daidzein, on estradiol-17 β -related endometrial carcinogenesis in mice. *Jpn J Cancer Res*, 92, 726-734 (2001)
- 3) Mori, H., Niwa, K., Zheng, Q., Yamada, Y., Sakata, K., Yoshimi, N. Cell proliferation in cancer prevention; effects of preventive agents on estrogen-related endometrial carcinogenesis model and on an in vitro model in human